

1. 特開平07-067357公開公報

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

放電管用インバーター回路の二次側回路を高周波の給電回路とし、二次側回路に生ずる寄生容量を誘導性バラスト或は漏洩磁束型トランスの誘導性出力との間で構成する共振回路の一部としたことを特徴とする放電管用インバーター回路。

2. 第一回拒絶理由通知後に補正された請求項

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

放電管用インバーター回路の二次側回路を高周波の給電回路とし、昇圧トランスを棒状の漏洩磁束型とし、二次側回路に生ずる寄生容量を洩磁束型トランスの誘導性出力との間で構成する共振回路の一部としたことを特徴とする放電管用インバーター回路。

3. 第二回拒絶理由通知後に補正されて特許査定された請求項

(赤い部分を赤に、青い部分を青に展開)

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

連続した一本の棒状コアと、一次巻線と、二次巻線を有し、該一次巻線と二次巻線は該棒状コアのまわりに、該コアに沿って隣接して並置された関係に巻回され、その結果、該二次巻線は該一次巻線と磁氣的に密結合した該一次巻線近傍の密結合部分と該一次巻線と磁氣的に疎結合した該一次巻線から離れた疎結合部分とを有する、漏洩磁束型の昇圧トランスの疎結合部分より生じる誘導性出力と二次側回路に生じる寄生容量との間で構成する共振回路の一部としたことを特徴とする放電管用インバーター回路。

【請求項 2】

放電管用インバーター回路の二次側回路を高周波の給電回路とし、昇圧トランスを閉塞磁束型とし、二次側回路に生じる寄生容量を昇圧トランスと直列に接続した誘導性バラストとの間で構成する共振回路の一部としたことを特徴とする放電管用インバーター回路。

4. 異議申し立て平成10-074786号により請求項 2 を削除、有効な請求項

【請求項 1】

連続した一本の棒状コアと、一次巻線と、二次巻線を有し、該一次巻線と二次巻線は該棒状コアのまわりに、該コアに沿って隣接して並置された関係に巻回され、その結果、該二次巻線は該一次巻線と磁氣的に密結合した該一次巻線近傍の密結合部分と該一次巻線と磁氣的に疎結合した該一次巻線から離れた疎結合部分とを有する、漏洩磁束型の昇圧トランスの疎結合部分より生じる誘導性出力と二次側回路に生じる寄生容量との間で構成する共振回路の一部としたことを特徴とする放電管用インバーター回路。

結局、赤い部分と青い部分とでどちらのほうが重要な補正であったかといえば、青いほうが重要な補正であったことは明らかである。飯村敏明裁判官の最初の心象開示による「連続した一本の棒状コア」の審理を尽くせという訴訟指揮は全体を捉えてないし、合目的的に恣意的に争点を設定したものであることが明らかだったといえる。